

JASE

現代性教育 研究ジャーナル

MONTHLY JOURNAL of SEX EDUCATION TODAY

2021 年
No. 125
2021年8月15日(毎月15日)発行

日本性教育協会
THE JAPANESE
ASSOCIATION
FOR SEX EDUCATION

〒112-0002 東京都文京区小石川2-3-23 春日尚学ビル Tel.03-6801-9307 Mail info_jase@faje.or.jp URL https://www.jase.faje.or.jp 発行人 石川哲也 編集人 中山博邦
© JASE. 2021 All Rights Reserved. 本ホームページに掲載している文章、写真等すべてのコンテンツの無断複写・転載を禁じます。

contents

トランスジェンダー恐怖を利用する……………1	性教育の現場を訪ねて④……………8
いつきの“ヒューマン・ピーイング”⑤……………6	今月のブックガイド……………10
多様な性のゆくえ⑥……………7	JASEインフォメーション……………11

トランスジェンダー恐怖を利用する トランプ政権の4年とその残滓

ジャーナリスト・作家 北丸 雄二

はじめに

アリゾナ州フェニックスで7月24日に数千人の共和党支持大学生や高校生、及び共和党議員らを集めて開かれた保守派学生集会「ターニング・ポイントUSA」、そこに現れたドナルド・トランプは来年の中間選挙、さらには24年の大統領選挙を睨み共和党本体の手綱を締めようと、例によって2020年大統領選挙に関する根拠のない陰謀論を繰り返した挙句、不意に話題を東京オリンピックに出場した女性重量挙げニュージーランド代表ローレル・ハバード選手(43)に振ったのでした。

*

国際重量挙げ連盟(IWF)87kg超級部門で世界7位にランクされるハバードは、オリンピック史上初のトランスジェンダー女性選手の1人(東京五輪には他にトランス・ノンバイナリーのカナダ女子サッカー代表DFレベッカ・クイン選手も出場)であり、かつ史上最高齢出場の重量挙げ選手でもあります。父親は

45万都市だった同国オークランドの元市長でシリアルフード製造会社創始者ディック・ハバード。2012年、34歳の時にジェンダー移行し、ローレルを名乗りました。その年からホルモン療法を受け、性別移行手術も受けています。重量挙げ競技に初めて出場したのは移行以前の1998年。男子105kg超級部門でスナッチ135kg、クリーン&ジャーク170kgの計300kgでニュージーランドのジュニア記録を作りました。ただし2001年には競技を中断しています。

「耐えられなくなったから」と彼女は説明しています。「自分のような人間のためには作られていない世界に、無理やり自分を合わせようとするプレッシャーに耐えられなかった」

競技を再開し、初めて国際試合に出場したのはジェンダー移行5年後の2017年、メルボルンで開催されたオーストラリア国際オープンでした。この時、彼女は90kg超級で金メダルを獲得し、ニュージーランドに初めて重量挙げ国際タイトルをもたらしたトランス女性選手となりました。その後も国際試合で好成績を残し、2021年6月21日、ニュージーランド五輪委は

ハバードを正式に五輪選手に選出したのです。

トランプの判断基準

競技スポーツにおけるトランスジェンダー選手、特にトランス女性選手の出場問題は近代競技史上初めて公に登場したもので、いま最もデリケートなテーマです。実は、国際オリンピック委員会（IOC）自体はトランスジェンダー選手の出場資格に関する規則や基準を持っていません。出場を認めるというコンセンサスは2015年のガイドライン（指針）で確立しているものの、IOCは、それぞれの競技の国際連盟がここ数年～十数年で作りに上げたルールに則った出場選手を受け入れるだけなのです。

IOCの医学・科学部長リチャード・バジェット博士は「ハバード選手は連盟（IWF）が認めた女性選手だから女性であり、IWFの基準の下で女性競技に出場する。私たちはオリンピックのために競い出場資格を得た彼女の勇気と努力に敬意を表しなくてはならない」と話します。出場の是非を決める責任は各競技連盟に丸投げするというIOCらしい体質が露呈しているとも言えますが、いずれにしても複雑で世論を二分するような問題に関して、トランプが口を挟まなかったことはあまりないんですね。

冒頭の集会壇上で、トランプは何度もハバードを故意に「彼/あいつ（he）」と言い募り、オリンピックのトランス選手参加に反対を繰り返したのです。

「Men are being allowed to compete in women's sports, how do you like that? Think of that, how fair is that? Did you see the weightlifter? I hate to tell you this, women, but he shattered your long standing record. This guy gets up, boom boom. Like a nine year record. Sonny a nine year record, boom. Did he do it with one hand, you know? It's so unfair. (男が女のスポーツで戦うのを許されるって、みんなはどう思う？ 考えてもみろ、それって公平なことか？ あの重量挙げの選手を見たか？ こんなことは言いたかないが、女性諸君、あいつは君らが長いこと持ってきた記録を破ったんだ。この男が現れてバンバーンだ。9年続いた記録をだ。この若者が、9年越しの記録をバーンだ。それも片手で持ち上げたって知ってるか？

こりゃ本当に不公平だ》(ロイター、7/25)

さらに続けて「そう、みんな勝つのが好きだ。だからもしおれがコーチ（監督）だったら、言っとくが、あまりたくさんの女性には声をかけないね。我々の知る“女性”である女性だ。ある人が言ったが、もしレブロン・ジェームズ（「キング」の異名を持つNBA史上最強とも言われるスター選手）が（性別移行）手術を受けるって決めたら、（女子バスケの）コートの上で彼はどんな選手になると思う？ なあ、どんな感じだ？ ところでレブロン・ジェームズに関しては、おれは取らないから持っていいぞ」

ちなみにトランプはかねてからNBA（全米プロバスケット）のファンであると公言していましたが、恒例のホワイトハウス表敬訪問を拒否した2017年NBAチャンピオンのウォリアーズ、スティーヴン・カリー選手に味方してトランプを「ぐうたら（bum）」と呼んだレブロンを急に毛嫌いし、「あいつは民主党の汚い宣伝マン（nasty spokesman）で憎悪をばら撒く男（hater）だ」とこき下ろしたという経緯があります。

*

手のひら返しのこのレブロンの場合にもうかがえるように、大統領就任前から数十年にわたりトランプを見てきた私には、彼にとって最も重要な判断基準は、政治信条が云々というよりもその時その時の自分にとって誰が敵か味方か、何が有利か不利か、どれが得か損かということだけなのではないかと思われるのです。

巷間、トランプのことを女性差別主義者だ、人種差別主義者だ、性的少数者を嫌っている、などと言いますが、どうもそういう確固たる信念があるようには見えない。むしろそれらは彼にとってはどうでもいいことに映ります。自分のこと以外は無関心、だから女性問題にも黒人問題にも性的少数者問題にも移民にも外交にも内政にも軍事にも本当はまるで興味がない（彼は本さえまったく読まないのです）。そういう者にとって、それらの問題はすべてその都度、自らにとって良いか悪いかの二元論になります。

共和党から出た大統領になったわけではありますが、彼にとっての判断基準は民主党的か共和党的かという問題ではありません。民主党か反・民主党かの問題でした。なぜなら、彼には共和党の政治信条は共有されていない、というか「政治」も「信条」自体もないからです。なので、あるのはあくまで自らの大統領権力

の脅威となる、敵・民主党の鏡像としての“政治”的自我です。結果、民主党の政策への逆張りだけが彼の政策になります。すると本来の共和党はどうなるか？

トランプ以前の共和党は是々非々で民主党と超党派的政策を追求することもできました。それがほとんどなくなりました。上院院内総務のミッチ・マコーネルは本来はそういう保守穏健派の重鎮でしたが、反・民主党が主軸になって保守本流の共和党が消えるとマコーネル自身の政治信条も消滅し、共和党議員の大半がそんな彼に倣った“トランプ党”になりました。その潮流が反作用として民主党の反トランプ主義をも加速させ、結果、アメリカは二分化が進まざるを得なくなったのです。分断はこうして起きました。

トランプの人権意識

トランプの反・民主党の道は反フェミニズム、反ブラック・ライヴズ・マター、反LGBTQ+のかたちを取りました。それは男性主義、白人至上主義、異性愛規範主義でした。もっとも、トランプ以前の共和党は前述したように女性も黒人も性的少数者も包摂してはいたのです。「人権」は党派的なものでも政治的なものでもないというのが20世紀のアメリカの政治的進化のあり方でした。にもかかわらず、反・民主党的政策を採るために、トランプは敢えてそれらを無視した——彼には人権は（他のものと同様）どうでもよいものだったからです。

それが、急速に変わりつつある現代の価値観に取り残された（更新されないままの）中部州、中西部州、南部州の白人・男性・異性愛者たちの心を掴んだ——。

*

おさらいしましょう。

トランプ政権が誕生した2017年1月20日当日、ホワイトハウスのウェブサイトからエイズ関連やLGBTQ+関連のページが消えてなくなりました。あまりに急ごしらえで、その消え方はアドレスそのままに中身が真っ白に削除されるという杜撰なものでした。とは言え、さすがに「ストーンウォールの反乱」以来半世紀を経たアメリカ社会で、ゲイやレズビアンたちの獲得してきた人権は易々と否定できるものではありませんでした。そこでトランプ政権が狙ったのが、まだ理解と共感とが成熟しきっていなかった「トラン

スジェンダー」という存在への集中攻撃でした。

トランプ前のオバマ政権は教育や社会保障といった分野で「性別」の定義を個人の選択とする考えを打ち出し、トランスジェンダーの生徒に自らが選んだ「性」のトイレの使用を認めもしました。軍へのトランスジェンダー男女の入隊も、さまざまな議論を経て2016年に受け入れを決めていました。

ところがトランプは政権発足1か月後の2月22日、生徒が自分の決める性別に応じてトイレを使用できるとしたオバマの「トランスジェンダー生徒保護ガイドライン」を撤回。さらに7月には「米軍は圧倒的な勝利のために集中しなければならず、トランスジェンダーの受け入れに伴う医学的コストや混乱の負担は受け入れられない」などとして米軍へのトランスジェンダー新規入隊の停止措置を執ったのです。

当時すでに米軍全体の1%に当たる9000人のトランスジェンダー男女が軍務に就いていました。これはさすがに連邦裁判所によって阻止され、入隊手続きは再開されましたが、トランプは諦めませんでした。政権2年目、中間選挙を控えて保守派の票固めをしたいトランプはさらなる攻撃に出ます。選挙直前の18年10月、トランプ政権は「性別」の定義を「男性か女性かのいずれか一方」であり「生まれた時または生まれる前に確認された不変の生物学的特徴に基づく」と規定。《ニューヨーク・タイムズ》はまた「出生証明書の原本に記載された性別は、信頼できる遺伝的証拠による反証がない限り変更できない」とする方向で統一することを検討している、と報じました。

それまでの細々としたトランス排除措置ではなく、性別に違和感を持つトランスジェンダーの概念そのものから否定しようとしたのです。全米で推定140万人と言われるトランスジェンダーの人々の存在を「無」にする動きでした。

こうした一連の反トランスの気運は、社会全体の空気を変質させました。アメリカの大統領が率先してトランスフォビアを煽っているのです。それはLGBTQ+コミュニティ全体へのフォビアを明示化し加速させました。

2020年10月の《サイエンス・アドヴァンセズ (Science Advances)》誌のアンドルー・フローレス (アメリカン大学准教授) らの論文によれば、米国のセクシュアルおよびジェンダー・マイノリティ (SGMs) の1000

人に71.1人が暴力被害に遭っていて、これはマイノリティ以外の同19.2人という数字に比べて4倍近く高い。この数字は2016年以降に連邦司法統計局が収集した国内犯罪調査のデータを基に計算されました。しかもSGMsはレイプや性的暴行、強盗などのより凶悪・暴力的な犯罪の犠牲になることが多かったこともわかりました。

そもそもそれ以前の事案は性自認や性的指向に関する質問自体が存在しなかったので比較する数字がないのですが、一方、独自にデータを収集している人権団体「ヒューマン・ライツ・キャンペーン（HRC）」によると、米国でのトランスジェンダーに対する暴力事犯は増加傾向にあり、殺害された数もわかっているだけで毎年30人近くなのです。しかもその大半は非白人のトランス女性。もっとも、警察当局には多く犯罪報告に際してトランスジェンダーが犠牲者であった旨を報告する規則自体がなく、しかも報告された情報も一元化するシステムはありません。さらには警察官が被害者の性別を誤って判断することも少なくないため、実際の暴力被害は報告件数よりもはるかに多いとみられているのです。

*

一方、トランプ政権下で再び台頭したのが「信条・信教の自由」問題でした。結婚の平等（同性婚合法化）が達成されたオバマ政権下でリベラルな気運が高まると、当然その反動も目立ち始めます。有名な事案が2012年のコロラド州のケーキ店「マスターピース・ケーキショップ」でのゲイ・カップル用ウエディングケーキ注文拒否事件でした。

店主は自身のキリスト教信仰を理由にゲイ・カップルへのケーキ作りを断ったのです——これは下級審では「差別」と認定されましたが、トランプ政権下の2018年、連邦最高裁は、この事案を最初に「差別」と認定した「公民権委員会」の審理過程で、ある委員が信教の自由への反感を示していた（偏見を持っていた）事実を看過していたとして審理の公正さに問題があったと裁定し、下級審での「差別」認定を破棄しました。そして最高裁自身は、「ゲイの人々の尊厳は守られるべき」と明言しながらも、これが差別か否かという判断には踏み込まなかったのです。

この結果、同性婚をめぐるのは宗教的立場から全米各地で花やビデオ撮影などのサービスを提供

し（たく）ないという業者が顕在化し、新たな裁判が次々と提起されることになりました。

トランプ後のトランスジェンダー事情

そこでバイデン政権の対応です。2021年1月20日、新大統領はトランプ路線を払拭しようとやはり就任初日一日で17本もの大統領令（行政命令）を発布しました。パリ協定やWHOへの復帰、メキシコとの「国境の壁」建設の中止、イスラム圏からの入国禁止の解除などいずれも重要な政策転換に混じって、「ジェンダー・アイデンティティや性的指向を基にした差別の予防と防止」が含まれていました。トランプ政権下でのバックラッシュが目に見え、早急に対処しなければならないとの判断でした。

ただし、大統領令では立ち行かない問題があります。それが冒頭に紹介した「トランス女性」と「女性スポーツ競技」の問題でした。

バイデン政権は発足1か月の2月24日、トランプ政権が支援していたコネチカット州での連邦訴訟から手を引きました。これは女子の高校スポーツ競技にトランスジェンダー女子の選手が参加することを禁止しようという訴訟でした。

北東部のコネチカット州は、高校生選手が自分のジェンダー・アイデンティティに基づいてスポーツに参加することを認めています。ところが2020年初頭、数人の女子ランナーたちが、現役のトランスジェンダー女子の短距離選手と競走しなくてはならなくなれば「自分たちが州の選手権で勝つ機会や選手としての可能性を奪われてしまう」として訴訟を起こしたのです。

トランプ政権は前述のように「性別は男か女」「生まれた時の生物学的性別しか認めない」という立場でした。当然、トランプの司法省と教育省はこの訴訟の原告側女子選手たちをバックアップしました。ところがバイデン政権になって立場は変わり、トランス女子たちを排除しないという方針の下、同訴訟の却下を申し立てる側に回ったのです。

とは言え、この提訴をきっかけにトランス女子のスポーツ参加禁止の州法を提案した州は2021年の現時点で20州以上に上り、ミシシッピ、フロリダ、アーカンソー、モンタナ、ウェストバージニアなどでは法

案が成立してしまいました。

米女子サッカーの大スターであり、アウト・レズビアンの象徴的存在であるミーガン・ラピノーはこの動きに対し「私たちは、子どもたちを大切に思っているともう胸を張って言えなくなる」と強く批判しています。またカリフォルニア州は6月28日、「LGBTQ + 差別に対して州が支援や資金提供を行う事態になることを避ける」ため、LGBTQ + に対して差別的な法律を成立させたフロリダ、モンタナ、ウェストバージニア、アーカンソー、ノースダコタの5州を、州費での渡航を規制する地域のリストに新たに追加しました。これまでもアラバマやアイダホ、テキサスなど12の州が対象となっていたので、計17州が現時点での規制対象です。

*

日々拡大する一方のこの問題が複雑なのは、「女性」と「トランスジェンダー」という2つのマイノリティ・グループの権利獲得運動が衝突していることです。

フェミニズムの立場としてはやっと獲得した女性のスポーツ権の保持の問題です。女性たちが平等な条件の下で勝つ権利を、今度はトランスジェンダーによって脅かされる、というのがその論理背景になっています。ちなみにモンタナ州で成立した法案は「女性スポーツを救え (Save Women's Sports) 法」という名前です。

このトランス排除の理由づけの根底には、トランス女性はももとは肉体的に男性であり、筋肉量も生来的に有利だという「物理的」な要素が関係してきます。そしてさらに「トランス女性は男性だ」という「思い」から派生する、ともすれば男性優位社会の中での被虐待トラウマや根深いミサンドリー（男性嫌悪）も入り込んでいるので、より複雑になります。

バイデンの大統領令はジェンダーや性的指向に基づいた差別を禁止していますし、それは「トイレやロッカールームや学校スポーツで拒否されることなく教育を受ける権利」にまで踏み込んで明文化されています。ところがお題目はあるものの教育省がそのためにどのような部分を改革してどう実現すべきかの細部はまだ明確ではありません。

もう一つ、見逃してはいけないことがあります。全米で起きている反トランスジェンダー訴訟の大半は、実は「実害」を基に提訴されたものというよりは、かつて石原慎太郎に「尖閣購入」を演説させたアメリカの保守シンクタンク「ヘリテージ財団」や前述のコロラド州のケーキ店訴訟の後ろ盾だったキリスト教右派組織「自由防衛同盟 (Alliance Defending Freedom)」の政治キャンペーンであるという点です。つまり問題は、彼らにとっては「女性の権利を守るという大義名分」というよりも、「トランスジェンダーの脅威」という妄想を煽り、「リベラルの台頭を阻止する」というのが第一の、かつ唯一の、狙いだということなのです。

*

トランプは、自分が注目を浴び続け、権力を維持できることならなんでも利用します。共和党は中間選挙を来年に控え、米国の宗教右派や保守派層内のトランプ人気に支配されるかたちで、従来の保守本流の反トランプ共和党議員の排除に動いています。結果、今年1月6日の連邦議事堂襲撃事件に関する見解も「あれは通常の観光客の議事堂訪問と同じ秩序立ったものだった」と“修正”しています。

彼らが折に触れ、ジェンダーの問題を選挙をめぐる有権者の深層心理への訴えに利用することはすでに明らかなのです。



性科学ハンドブック Vol.13

岩室紳也と早乙女智子の

もっと知りたい性のこと

岩室紳也・早乙女智子著

◆ A5判 : 138頁 頒価700円

part 1 多様な性 / 「性」を科学する難しさ // ジェンダーバイアス・ジェンダーギャップ ほか
part 2 女性の性 / 膣VAGINAはくぼみである / 女子もします! マスターベーション ほか
part 3 男性の性 / 「包茎」を科学する / 男子はおちんちんで育つ / 「男」は環境で育つ性 ほか

好評発売中!



※送料等は、ホームページを参照してください。 <https://www.jase.faje.or.jp/pub/pub.html>

いつきの“ヒューマン・ビーイング”

人権について考える ⑤

土肥いつき

京都の公立高校教員。24時間一人パレード状態のトランス女性。趣味の交流会運営で右往左往する日々を送っている。

触媒でいい

2002年7月、わたしは宮崎のとあるホールの壇上に立っていました。ホールは満席どころか、通路の階段に座っている人もおられます。その数、およそ300人とのことでした。約2時間半、夢中で話をしたわたしに、みなさんは大きな拍手をくださいました。これが生まれてはじめて自分のことを「講演」というかたちで話した経験でした。

それに先立つ1月、セクシュアルマイノリティ教職員ネットワーク（STN21）と宮崎県同和教育研究協議会（県同教）の交流会があり、わたしはそこに参加しました。STN21側の参加者のうちトランスはわたしだけ、あとはみんなゲイでした。自己紹介の時間になると、ゲイの人たちは自分のことを話しはじめ、県同教の人たちは興味深そうに話を聞かれています。しかし、トランスをはじめて3年ほどしかたっていないわたしには、自分のセクシュアリティについて話せることはほとんどありませんでした。しかたないので、自分の教育実践について話をしました。事務局長のNさんはそんなわたしの自己紹介に、他の人たちとは別の興味を持たれたようでした。交流会が終わったあとも「京都の同和教育について知りたい」といって、わたしを引き止められ、夜遅くまで語りあいました。

4月のある日、Nさんからメールがきました。講演依頼のメールでした。「なにをしゃべればいいのですか？」とたずねたわたしに「いつきさんの話をして下さい」という答が返ってきました。

何を話そうかと悩みました。話せることなどなにもないわたしにできることはひとつしかありません。それは、できるだけ正直に自分のことを話すことです。

「性別違和に気づいたのはいつ？」と聞かれることがあります。それに対するわたしの答は『「性別違和」という言葉を知った時』です。わたしがトランスジェンダーという言葉を知ったのは1997年、35歳の時でした。あるいは「性別違和」という言葉を知ったのは、さらにその4年後、2001年に『性同一性障害の基礎と臨床』という本を読んだ時でした。それまで

はモヤモヤした気持ちにつけられる言葉は、せいぜい「変態」くらいしかありませんでした。であるならば、ライフストーリーが35歳に到達するまでは、トランスジェンダーという言葉も性別違和という言葉も使わないでおこうと思いました。そうすることで、わたしの気持ちを追体験してもらえないんじゃないかなと考えたのです。もうひとつ考えたことは、けっしてわたしは常にしんどさを抱いていたわけではないということです。例えば、トランスジェンダーという言葉と出会う前は、「女性の身体を獲得したい」という気持ちは「空を飛びたい」と同じくらいに実現不可能なことでした。そんな夢は、忘れてしまえば、わたしは「普通の」人でした。それどころか、当時も今も、わたしは充実した教員生活を送っています。だからこそ、教員としてのわたしの話をしたいと思いました。

そしてなにより思ったことは、「わたしのことを理解してほしいというメッセージは出さないでおこう」ということでした。それまで何十回となくさまざまな当事者の話を聞いてきました。話の中にある「こんなにしんどい状況の中に置かれている」というメッセージを聞いたたびに、差別の現実に怒りを覚えながらも、一方で「うらやましい」という気持ちとともに、「語れるしんどさ」への嫉妬心が心の中に渦巻いていました。そんなわたしが、語る場を与えてもらったのです。であるならば、わたしの話を聞いた人に、あの時のわたしのような思いは絶対にしてほしくないと思ったのです。わたしの話は触媒であればいいと思いました。おそらく誰もが自分の中に語れないしんどさを持っている。わたしの話を通して自分の中にあるそういうしんどさを思いだしてもらい、それと向きあってもらった時、そこに共感が生まれるんじゃないかと思ったのです。「いつきさんの話を聞きながら、ずっと自分のことを考えていた」という感想をもらうことが、たまにあります。そんな時、話してよかったと思います。

宮崎の講演で、もうひとつ学んだことがありました。宮崎の講演で、もうひとつ学んだことがありました。宮崎の講演で、もうひとつ学んだことがありました。宮崎の講演で、もうひとつ学んだことがありました。宮崎の講演で、もうひとつ学んだことがありました。

多様な性
のゆくえ

One side/No side [52]

長谷川さん、大いに語る

自慢のできる話ではないが、私は読書のスピードが著しく遅い。推理小説を読んでも、登場人物が次々に出てくると、「あれ？ この人、誰だったっけ」と探し直すこともあり、ますます時間がかかる。

一方で、あれも、これも……と好奇心だけは人並みにあるので、小さな机と狭い部屋は積読（つんどく）の山に占拠されることになる。

書物のように山にはならないが、同様の現象がいま、オンラインで起きている。

新型コロナウイルス感染症 COVID-19 の流行で、エイズ分野の NPO も不要不急どころか、必要な会合も開けない状態が続いているからだ。国際エイズ会議や内外の学会はバーチャル開催で何とか苦境をしのいできた。おれいす東京やコミュニティセンター akta など、東京が拠点の NPO も YouTube チャンネルを獲得し、逆に情報の発信性を高めている。

オンラインで距離の壁を越え、遠くからでもアクセスが可能になった。こりゃあ、いいね！ と、受け手としても最初は浮かれていたが、「いずれ、そのうちに」と思っていると、つんどく率が見る間に上昇する。akta・YouTube チャンネルのアーカイブで《出張！ akta Talk Show ヒューマン・ライブラリー 長谷川博史さんが語る「HIV とゲイコミュニティ」》（欄外アドレス参照）を探し出して観たのも、公開から3か月もたってからだった。

《ゲイであり HIV 陽性者の長谷川博史さんをゲストに迎えたトークショー。長年にわたり、HIV とゲイコミュニティをつないでこられた長谷川さんの半生をお届けします》

長谷川さんは日本 HIV 陽性者ネットワーク・ジャンププラスの創始者であり、詩人であり、ゲイ雑誌の編集長、ドラアグキーンのパフォーマー、HIV/エイズ運動の論客としても知られるレジェンドである。私も以前、じっくり取材したいと思い、時間を取っていただいたことが何回かあった。相性がいいのか、悪かったのか、会うとどうしても世間話のような感じに

なってしまう、「こりゃあ歯が立たんわ」とインタビューを断念した苦い思い出が残っている

その点、akta トークショーは、3人の聞き手が長谷川さんの魅力を十二分に引き出す好インタビューになっている。内容については直接、動画をご覧ください方がいいと思うが、一カ所だけ、真ん中あたりで私の名前にも言及していただいた部分があるので、ついつい嬉しくなって紹介しておきたい。長谷川さんがジャンププラス創設の経緯を語る部分である。

2001年12月の御用納め翌日に、エイズ&ソサエティ研究会議の樽井正義副代表と私は、都内のイタリア料理店で長谷川さんとお会いした。2003年に神戸で開催予定だった第7回アジア・太平洋地域エイズ国際会議（神戸会議）の組織委員に HIV 陽性者として加わってほしいとお願いするためだ。

長谷川さんはそれ以前にゲイコミュニティで HIV の勉強会を続けており、神戸会議の委員就任にも快諾を得た……と私には感じられた。ただし、長谷川さん一流の言い方をすれば、他にやりたいこともあり、あまり気が進まなかったが、断りきれなかったという。トークショーでも「2年足らずの間、飾りだけの委員でいればいいや」と思っていたと語っている。

残念ながら、その見通しは大きく外れる結果になった。2003年は重症急性呼吸器症候群（SARS）が中国を中心に流行した年であり、11月に予定されていた神戸会議も延期になったからだ。実際に開かれたのは2005年7月で、延長された2年の間、私などは針のムシロに座る気分だったが、その苦境を跳ね返す長谷川さんの活躍は目覚ましかった。

血液製剤によって HIV に感染した人たちと、性行為で感染した人たちの立場の違いをことさらに強調する見方は当時も国内に根強く残っていた。そうした中で感染経路に関わりなく、HIV 陽性者のネットワークが誕生したのも、長谷川さんの人間的魅力に負うところが大きかったのではないかな。うかつにも私は、いまにしてようやく、そんなことに思い至っている。

[静岡県掛川市立桜が丘中学校] (上)

性的指向・性自認に悩む生徒の環境を整える目的で 企画した「性の多様性」の授業

静岡県掛川市の人口は約 11 万人。中東遠地域（磐田市、袋井市、掛川市、菊川市、御前崎市、森町）の中核的存在のまちとして知られている。その掛川市の西北に位置する掛川市立桜が丘中学校では、令和 2 年度 1 月に 1 年生を対象に「性の多様性」をテーマにした授業を実施した。掛川市内の中学校では初めての試みだと聞き、お話を伺った。

人権教育に力を注ぐ

中教審答申『「令和の日本型教育」の構築を目指して』のなかに、「学校教育の質と多様性、包摂性を高め、教育の機会均等を実現する」と掲げられている。

桜が丘中学校では、それを受け、発達の問題を抱える生徒、外国籍の生徒、貧困、虐待等家庭の問題を抱える生徒など、すべての教育的弱者にとっての安心・安全な学校を実現することをめざして、人権教育に力を注いでいるという。

昨年度は「桜が丘中学校人権宣言をしよう（学級活動）」「いじめ・人権について考えるパネルディスカッション（全校集会）」を実施、また「コロナ差別防止のための全校道徳」は新型コロナウイルス感染症予防による休校があけてすぐに実施し、全校生徒全体で感染症に関係する人権について考えた。

今回実施した「性の多様性」は、その人権教育の一環として初めて行われた授業で、1 年生の学級活動として実施された。

性的指向・性自認に悩む生徒からの相談

そもそも性の多様性については、同校で人権教育実施の中心を担っている梅葉紳介教頭が 4 年前に着任して以来考え続けていたテーマだという。

梅葉教頭によると、毎年、性的指向・性自認に悩む生徒がおり、決まって義務教育の終わりが近づいた進路選択の時期になると、「スラックスの制服を着用したい」など、進学先の高校での配慮等を求めるかたちで本人や保護者からの相談があるという。

「しかし、これは逆に考えると現在の本校の状況で

静岡県掛川市立桜が丘中学校
学校長 菅沼一浩
児童・生徒数 422 人
教員数 27 名

(2021 年 7 月現在)

は、生徒が自己の性的指向・性自認について、気軽に相談することができずらい環境であると考えられます。

そこで義務教育の中で性的指向・性自認に悩む生徒の相談しやすい環境をつくり、性的少数者等への偏見のない学校をめざそうと、1 年時から授業の中で『性の多様性』を扱うこととしました」（梅葉教頭）。

適切な教材動画探しに苦慮

授業は、T・T（ティームティーチング）で、性の多様性についての解説と授業最後のまとめは養護教諭が担当し、授業の展開は担任の教諭が受けもつことにした。

また、学級活動の時間に各学級 1 時間ずつの授業を実施し、学びを深めるためにもう 1 時間ずつ振り返りの授業を行うことにした。

指導案の作成にあたって苦労したのは、教材動画とすること。

梅葉教頭は「LGBT など性的マイノリティの人々の悩みや苦しみを生徒に伝える手段として動画を使うことを考えていましたが、はたして教材として適切な動画が見つけれられるのだろうか」と心配をし、苦慮しました」と振り返る。

アンテナを広げて探すうちに、偶然「告白」という 5 分程度の実話を元にしたドラマをインターネット上で発見できた。

学級活動指導案

本時の指導

- (1) 授業名 「性の多様性」～LGBT への偏見をなくそう～
- (2) 本時の目標 性の多様性、LGBT について理解することをとおして、生徒が自分と違う性的指向や性自認をもつ他者についての偏見をなくし認められるような心根を育てる。
- (3) 指導過程

段階	形態	○教師の働き掛け ・予想される生徒の反応	・支援や留意点 ☆評価
導入	一斉	<p>○このマークは何を表しているだろう。</p>  <p>・男女の区別です。・体の性の区別</p> <p>○体の性のほかにどんな性があるだろう。</p> <p>・心の性 ・好きになる性 ○性には三つの要素があります。</p> <p>○性を構成する三つの要素に違和感を感じる人が日本人の中に調査によれば7.6%、13人に1人いることとなります。そういう人たちはなんと呼ばれているだろうか。</p> <p>・LGBTです。</p>	<p>・導入部分はパワーポイントを用いてテンポよく進める。</p> <p>・LGBT について性的少数者の総称の一つであり 同性愛のレズビアンとゲイ、両性愛のバイセクシュアル、出生時に法律的社会的に定められた自らの性別に違和感を持つトランスジェンダーの4つの言葉の頭文字をとっていると説明する。</p>
展開	個 小集団	<p>○LGBT を簡単に説明する。</p> <p>○今日はLGBT の人とどのように接していけばよいか考えましょう。最初にビデオを見てもらいます。</p> <p>・「告白」というタイトルのビデオを見る。</p> <p>○ゲイを告白した息子に父母は何と言っただろう。</p> <p>・父は「俺はじいちゃんにはなれないのか。」</p> <p>・母は「教員の仕事をやめる。(世間体があるから)」</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>あなたが主人公の友達で、告白されたのがあなただったら、なんとやってあげるだろうか。</p> </div> <p>・キモい。 ・友達やめる。 ・別に興味ないし。</p> <p>・人それぞれでいいと思うよ。</p> <p>・私は応援するよ。 ・お前がゲイでも関係ない。友達だよ。</p> <p>・自分の信じる道を進めばいいよ。 ・私も女の子好きだよ。</p>	<p>・「告白」は主人公が父母にゲイを告白するドラマ。父母は直後、主人公に冷たい反応を示す。(前半3分)</p> <p>・ビデオを一旦停止し、学習問題を提示する。</p> <p>・「キモい、友達やめる」のようなネガティブな発言についても否定せずすべて受け入れる。そのうえで小集団での意見交換させる。</p>
まとめ	一斉	<p>○父母は息子をずっと認めなかったのか。ビデオの続きを見てみよう。</p> <p>・「お前はお前だ。親は子どもの幸せを願うだけだ。」と息子のことを認めてくれた。・父親の考えが変わった。</p> <p>○授業を通じて感じたこと、考えたことを書いてみよう。</p> <p>・いろいろな性があるといいんだ。 ・偏見をなくそう。</p>	<p>☆性の多様性やLGBT について理解し、それを受け入れる心根を育むことができたか。</p> <p>・ビデオ(後半1分)視聴</p> <p>・ワークシートに振り返りを記入させ、回収して評価をする。</p>

「動画は、主人公が父母にゲイを告白するドラマです。ゲイであることを両親に告白するのですが、両親はすぐにはそれを受け入れられなかった。しかし数年後、父親がはじめて主人公に『お前はお前だ』と、認める言葉を投げかけるという内容です。

この動画を見つけれられたことで、授業のイメージができあがりました。友人から、LGBTであることを告白されたらどう接するか、生徒ひとりひとりに考えてもらおうと思ったのです」と梅葉教頭は語る。

授業のイメージができ上がったところで、指導案づくりに着手した。授業のおおまかな流れは梅葉教頭が作成した。導入部の説明用プレゼンテーションを養護教諭が、またワークシートを授業者が作成するなど細部はそれぞれ分担して、みんなで指導案をつくりあげたという。

授業実施のために準備を整える

「性の多様性」は今回初めて授業で取り組むテーマ

である。それだけに、教諭の側も不安が多い。

そこで、梅葉教頭をはじめ養護教諭、1年生の学級担任が集まり、事前に授業案について、授業の流れ等を共通理解する時間を設けて理解を深めたという。

また、授業には養護教諭が参加するため、各学級担任と養護教諭の間で、それぞれ綿密な打ち合わせを行って準備を整えていった。

さらに生徒に対する配慮も必要だ。1年生に性自認に悩む男子生徒がいる。本人はこのことを周囲に公言しているが、授業を行ったことで他の生徒から詮索やからかい等を受けないように、気をつけて見守ることなどを学級担任と話し合った。

また、いきなり授業をして本人が嫌な思いをしないように、前もって性の多様性についての授業を実施することを伝えたという。

生徒たちの反応はどうだったのだろうか。次号で紹介する。

(取材・文 エム・シー・プレス 中出三重)

BOOK GUIDE

今月のブックガイド

進化、発展する「環状島」

まず、一橋大学大学院教授で、長くトラウマの臨床や研究を続ける精神科医の編者が考案した「環状島」とは、何かについて、序章から。

『大海原の中にある、孤島を思い浮かべてほしい。島はドーナツ状の形をしていて、真ん中に〈内海〉がある、〈内海〉の中心が、トラウマを受けるきっかけとなる出来事の〈ゼロ地点〉である。〈内海〉から島に上がるとところには〈波打ち際〉があり、水と陸の境界をなす。その先の〈内斜面〉を登ると〈尾根〉があり、〈尾根〉を超えると〈外斜面〉を下って〈外海〉へとひらけている。

ある特定のトラウマごとに、環状島は形成される。そのトラウマについて語るができる者は、環状島の陸地のどこかに位置することになる。基本的には、〈尾根〉を境にして、島の内側には当事者（被傷者）、外側には非当事者がいるとイメージしてもらうといい。』

編者は、当事者を「被傷者」と呼んでいる。災害や暴力など、さまざまな外的要因によって、ストレスを抱え、それがトラウマとなっている苦しんでいる人々のことである。本書は、編者とそれぞれの立場でトラウマを抱える当事者（被傷者）とかかわってきた7人との対話集である。

第1章は、「臨床における秘密と嘘 — 環状島から考える」をテーマに、甲南大学教授・臨床心理士の森茂起氏との対話。第2章では、「こころの内海に潜る — スキーマ療法と環状島」をテーマに、洗足ストレスコーピング・サポートオフィス所長で公認心理師・臨床心理士・精神保健福祉士の伊藤絵美氏、第3章は、西ヶ原病院の精神科医の林直樹氏で『「ボーダー」・治療者・環状島』がテーマ。第4章は、ドキ



環状島へようこそ

トラウマのポリフォニー

宮地尚子編
日本評論社
定価 2420 円（税込）

ュメンタリー映画監督の坂上香と『被害』と『加害』の螺旋を超えて — 『プリズン・サークル』から考える』、第5章は、筑波大学教授で精神科医の斎藤環と「トラウマと声・身体」をテーマに、第6章では、「トラウマインフォームドケアと環状島」をテーマに野坂祐子大阪大学大学院准教授（公認心理師・臨床心理士）、最後の第7章では「トラウマと依存症臨床の未来」をテーマに、国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所薬物依存研究部部長の松本俊彦氏との対話である。松本俊彦氏以外は、雑誌『こころの科学』での連載対話を再編集したものである。

対話を通してお互いが成長していること、言葉を換えて言えば何らかの発見をしているのではないかというのが、読後感である。どのように優れた人でも、独善に陥ることはあるだろう。とくに本書のテーマである「被傷者」に対する支援では、独善は大きな過ちを犯す危険性を孕んでいる。本書は、独善の回避に対話が大きな力になることも教えてくれる。

編者は、終章の冒頭で、次のように記している。

『対話というのは不思議なものだと、つくづく思う。話し相手の顔を思い浮かべるだけで、あれも話したい、これも話したいと、言葉が自然に湧き出てきそうになる。けれども実際に相手を目の前にすると、別の言葉が口に出て、その思いがけなさに、自分でびっくりすることもある。相手の言葉に応答しようとする中で、初めて気づくことも多い。今まで漠然と感じていたもやもやがクリアになり、言語化されていく。対話とは、ある意味で奇跡なのかもしれない。』

2007年に上梓した『環状島＝トラウマの地政学』（みすず書房／2018年新装版）で初めて環状島モデルを世に問うてから13年、その間に編者だけでなく、多くの治療者や支援者が、「環状島」を進化、発展させている姿が見えてくるのが本書である。

（教育ジャーナリスト 日向野一生）

9/5 (日)

13:00 ~

第12回世界性の健康デー記念イベント 2021 in 東京 東京性教育研修セミナー 2021 夏

sexual health in a digital world

ネット時代の性の健康

有料オンライン開催

内容

◎トークセッション1 インターネットと性の健康～安全とプレジャーを両立する～

インターネットといえば、リスク管理やリテラシーといった話題に関心が行きがちだが、人と人の繋がりを補足するという側面がある。触れ合うこと自体がリスクになり得るコロナ時代の今だからこそ、ポジティブな面を上手に活用して性の健康を楽しみたい！ そのためにどうすればいい？ そんな話をしたい。

◇登壇者

・高橋暁子さん（成蹊大学客員教授／IT ジャーナリスト）

・OliviA さん（ラブライフアドバイザー）

・染矢明日香さん（NPO 法人ピルコン 理事長）

・モデレーター：柳田正芳（性の健康イニシアティブ）

◎性の健康に関する団体の活動報告

・セックスミュージアム設立準備委員会 ・『あたらしいポルノ』プロジェクト

◎トークセッション2 性教育へのICT活用 これからの可能性を探る

「親は子どもにどうやって性教育すればいいの？」という相談が増えている。親から子どもに何を伝える？ どう伝える？ その疑問や課題にICT活用の観点から何ができるかということを探してみたい。

◇登壇者

・高安千穂さん（川崎市男女平等推進審議会 市民委員）

・宮原由紀さん（性教育サイト命育 代表）

・宮崎豊久さん（インターネット・ポリシー・スペシャリスト） ・モデレーター：柳田正芳（性の健康イニシアティブ）

※内容に変更になる場合あり、詳細は <https://wshd.jp/in2021> で順次公開。

参加費・問い合わせ先等

参加費／1,500円（一律。学割無し）

主催／世界性の健康デー東京大会実行委員会 協賛／日本性教育協会

問合せ・申込み先／<https://wshd.jp/in2021>



9月3日（金）～5日（日） Web 開催



第40回日本思春期学会総会・学術集会

オンデマンド配信期間：9月27日（月）正午～10月3日（日）正午まで（予定）

思春期を科学する

◆学術集会の主なプログラム◆

会長講演「思春期を科学する－ライフステージにおける思春期の重要性－」榎原秀也（横浜市立大学附属市民総合医療センター）

特別講演「思春期とプレコンセプション」荒田尚子（国立成育医療研究センター）

教育講演「新型コロナウイルス感染拡大とメンタルヘルス」太刀川弘和（筑波大学医学医療系）

シンポジウム1「思春期男子のヘルスケア」

シンポジウム2「ストレス下における思春期女性のヘルスケア」

ワークショップ「性教育学と性教育（実践）を繋ぐには」ほか

参加費・問合せ先等

詳細は、<http://www.pw-co.jp/40jsa2021/>



▶▶ 10月10日(日曜日) 15:30~18:00 オンライン開催 ◀◀

北東北性教育研修セミナー2021・秋

性の健康と性暴力

サバイバーを中心に据えたLGBTIQA インクルーシブな支援のあり方

- 第1部 15:45 - 16:35 性犯罪に関する刑法改正の”今”、サバイバーが声をあげやすい法制度に向けて 講師：斎藤梓氏
 第2部 16:40 - 17:40 LGBTの性暴力被害に関する調査報告 講師：伊藤良子氏 関めぐみ氏
 第3部 17:40 - 18:00 質疑応答

【講師】

齋藤 梓：目白大学人間学部心理カウンセリング学科専任講師。臨床心理士。教育と研究に携わりながら、被害者支援の実践も継続している。2017年改正以前の法制審議会部会（性犯罪関係）幹事、性犯罪に関する刑事法検討会委員。
 伊藤良子：大阪府立大学地域保健学域看護学類講師。日本版性暴力対応看護師（SANE-J）。性暴力被害および性暴力被害者支援に関する研究に取り組んでいる。
 関めぐみ：甲南大学文学部社会学科講師。専門は、社会学とジェンダー論。ボランティア活動として、性暴力被害者支援やLGBT支援事業にかかわっている。

方法 オンライン（ZOOMを使用）※詳細は申込者に直接連絡

参加費・問合せ先等

主催：北東北性教育研修セミナー実行委員会 協賛：日本性教育協会（JASE）
 参加費：北東北（青森・秋田・岩手）在住の方、無料。北東北以外に在住の方1000円（事前振込）
 申込み：rc-net@goo.jpまで、名前、連絡先メールアドレス、所属（ある方）を明記の上。

▶▶ 10月15日(金)~16日(日) Web開催 ◀◀

第62回日本母性衛生学会総会・学術集会

オンデマンド配信期間：10月15日(金)~11月15日(月)18:00まで

不確実な社会で、多様性と「やさしさ」を考える

◆学術集会の主なプログラム◆

- 会長講演 多様性と「やさしさ」を考える 中塚幹也（岡山大学大学院保健学研究科教授）
 理事長講演 母性衛生と倫理 正岡直樹（公益社団法人日本母性衛生学会理事長）
 特別講演 「出生前検査」22年目の方針転換と多様性を考える 河合 蘭（出産ジャーナリスト）
 特別講演 妊婦・子どもとウイルスとの戦いの歴史：風疹、サイトメガロウイルスから新型コロナまで
 中野貴司（川崎医科大学小児科学教授）
 会長企画（講演と対談） 性の多様性と子どもたち
 講演「私らしさと、やさしさと。」西原さつき（乙女塾）講演後、参加中学生と質疑応答。

※その他、教育講演、シンポジウム、ワークショップ、市民公開講座など。

参加費・問合せ先等 詳細は、<https://www.kwcs.jp/62bosei/>



「第21回JFS性科学セミナー」について

10月23日(土) 13:00~17:00・オンライン開催
 テーマ「ポスト・コロナ・セクシュアリティ」

※申込方法、プログラム等、詳細はJFSのHP (<http://www.jfs1996.jp/>) に決定次第掲載。



9月24日(金)10:00~13:00



2021 年度関東弁護士会連合会シンポジウム

性別違和・性別不合があっても安心して暮らせる社会をつくる —人権保障のため私たち一人ひとりが何をすべきか—

場所 軽井沢プリンスホテル ウエスト 「メインバンケットホール 長野」

※WEBによるライブ配信も行う。

※会場での参加又はWEB視聴のいずれの場合も参加費は無料

※会場参加の場合、定員 50 名 (一般の方)

詳しくは：<http://www.kanto-ba.org/news/2021/07/post-192.html>



主催 SEE性教育アカデミー
 協賛 日本性教育協会 (JASE)

1ヶ月間見放題 3000円
 全編 (80分) 日本語字幕つき

SEE性教育アカデミー2021 Webinar

Attitudes Toward Sexuality Education and Values in Sexuality Education

世界の〈学校〉性教育

それぞれの国における現状と課題・乗り越え方



サンプル動画
 無料配信中



SEE
 ホームページ

性教育を特集した報道・記事が急増しています。「おうち性教育」という言葉とともに聞こえてくるのは、「日本は性教育後進国」「肝心なところはAV任せ」「学校教育には期待できない」といった批判の声。では、諸外国の現状はどうなっているのでしょうか？

インタビュー形式で録画編集した動画6本と特別編1本で構成されています(80分)。ゲストは、ユネスコ編『国際性教育テクニカルガイダンス』の策定メンバーや、「セクシュアル・プレジャー」概念を定義したGABの諮問委員、性に関わる専門職認定の必須要件とされるSAR(性に対する価値や態度の自己再評価)研修の指導者など、性教育の経験豊かな6名。各国の現状と課題に加えて、性教育の価値、性教育に対する態度、実践家の研修プログラムなどの話題、さらには〈性の健康〉と〈性の権利〉をつなぐ…重要なのに、忘れ去られてきた…リンク〈セクシュアル・プレジャー〉についての解説もあります。日本語字幕つきで、1か月見放題。

★ゲスト・スピーカー

Dr. Charlotta Löfgren-Mårtenson (スウェーデン/マルメ大学教授/社会福祉・性科学)

「最近、大きく変化した学校性教育のありようとその理由」

Dr. Tommi Paalanen (フィンランド/セクスポ財団代表/哲学・性科学)

「研修は(800時間以上の性教育実習を含め)1年間」

Dr. Sara Nasserzadeh (米国/AASECT認定セックス・セラピスト/社会心理学)

「専門職の認定にはSARの受講が必須条件」

Dr. Jacqui Hendriks (オーストラリア/カーティン大学講師/性科学)

「性科学で修士号・博士号が取得できる大学における教育」

Dr. Wenli Liu (刘文利) (中国/北京師範大学教授/性教育)

「中国における包括的セクシュアリティ教育の推進」

Antón Castellanos Usigli (国際的組織GAB諮問委員/公衆衛生学)

「セクシュアル・プレジャーは性の健康と権利をつなぐリンク」

★動画 (Webinar) の視聴方法

- ①お名前、②ご所属、③連絡先を事務局 (kansaishy@gmail.com) まで
- 事務局から連絡の口座に視聴料3000円を振込 (Paypalもご利用可)
 (複数で視聴される場合は、人数分の振込みが必要)
- 入金確認後、動画視聴用のURLを通知

1ヶ月間、繰り返し視聴できる。

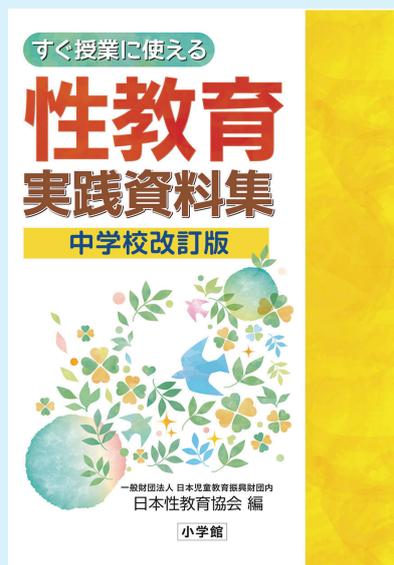
すぐ授業に使える

性教育実践資料集

中学校改訂版

〈主な内容〉

- 第1章 中学校における性教育（性教育を実践するにあたって／性教育の目的と意義）
- 第2章 性教育の実践（性教育の現状と実践の課題／学習指導要領における性教育の取り扱い／性教育の指導体制／指導計画の作成／性教育実施上の留意点／家庭・地域との連携／中学校の性教育の今後に向けて）
- 第3章 指導事例（各学年における指導計画と指導の流れ／8つの1年生の指導事例／6つの2年生の指導事例／6つの3年生の指導事例／7つの個別指導事例／5つの組織の指導事例）
- 第4章 参考資料（性行動経験率／性的なことへの関心割合／自慰経験率／性的関心の経験割合の推移／性へのイメージ／性感染症報告数の推移／梅毒患者報告数の推移／HIV・エイズ感染者の動向／人工妊娠中絶実施率及び推移／用語解説）



定価 2,200 円（税込） B5 判・224 ページ

「若者の性」白書

第8回 青少年の性行動全国調査報告

〈主な内容〉

- 序章 第8回「青少年の性行動全国調査」の概要
- 第1章 変化する性行動の発達プロセスと青少年層の分極化
- 第2章 青少年の性規範・性意識からみる分極化現象
- 第3章 家庭環境や親子のかかわりの違いは青少年の性行動に影響を与えるか
- 第4章 知識・態度・行動の観点からみた性教育の現状と今後の課題
- 第5章 青少年の性行動と所属集団の性行動規範
- 第6章 青少年の避妊行動の実態と包括的性教育の可能性
- 第7章 性的被害と親密性からの／への逃避
- 第8章 青少年の性についての悩み
～自由記述欄への回答からみえるもの～



定価 2,420 円（税込） A5 判・256 ページ

編／一般財団法人日本児童教育振興財団内 日本性教育協会 発行／小学館

全国の書店にて、ご購入いただけます！